

2019年 スポーツクライミング宮城県代表選手選考基準

2019年5月

権限の所在及び決定の方法

宮城県代表選手を選考する最終的な権限は宮城県山岳連盟が有する。

代表選手の選考は以下の基準に基づきスポーツクライミング部（以下 SC 部）が選考する。選考された選手は SC 部から推薦され、宮城県山岳連盟理事会で承認することによって決定する。

国体宮城県代表選手・ユース選手選考方針と基準

I（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会（以下 JMSCA）国体山岳競技規定・開催協議要項細則（資格・選考）に該当する選手は選考に優先的に考慮する。

「国民体育大会山岳競技開催基準要項細則」より

1. 都道府県大会等に参加し、これを通過した者であること。
2. ただし、日体協に定める「国民体育大会予選免除に関する要領」及び「トップアスリー トの国民体育大会特例措置」に基づき、予選会への参加が免除となった者についてはこの限りではない。

II. 宮城県山岳連盟の県内選考基準

1. 宮城県山岳連盟が指定する国体県予選会の成績上位の選手を候補選手として考慮する。
2. 「上位の大会」（注1）は県主催の国体県予選会に準ずる大会として認め、その成績を同様に考慮する。
3. 宮城県代表として選手規範を遵守出来る者。

以上の基準を元に候補選手を選考し、I の代表選手団選考方針に基づき総合的に判断して、宮城県山岳連盟の国体県代表選手を選考する。

(注1):「上位」大会とは、以下を差す。

- 1 ジュニアオリンピックカップ
- 2 ボルダリングジャパンカップ
- 3 リードジャパンカップ
- 4 リードユース日本選手権大会
- 5 ボルダリングユース日本選手権大会

Ⅲ選考人数

国体宮城県代表 : 成年、少年男女ともに出場可能選手を合わせて3名選考。
内1名は予備選手とする。

ユース宮城県代表: 若干名

Ⅳ選考結果発表時期

宮城県予選会終了後、宮城県山岳連盟 SC 部にて選考、推薦し、宮城県山岳連盟の理事会で承認することにより決定し発表する。

選考対象者 基準グレード

I 下記の申込区分に該当し、選考対象者基準グレード相応の実力がある者。

■ 年齢別グループ

【ユース】

ユースC (年内に12歳・13歳となる者)

ユースB (年内に14歳・15歳となる者)

ユースA (年内に16歳・17歳となる者)

ジュニア (年内に18歳・19歳となる者)

【国体】 (国民体育大会選手参加基準によって定められる)

少年 (年度内に中学3年生～高校3年生)

成年 (年度内に19歳以上となる者)

※ユース選手の区分はIFSCルールによるもので、生まれ年が基準になりますが、国体は「年度」によって分けられます。ご注意ください。

選考対象基準 RP グレード（リード／ボルダリング）

【ユース代表】

ユース C 男子	: 5. 11b～5. 12a /3 級～1 級	女子	: 5. 11b～5. 11c /4 級～2 級
ユース B 男子	: 5. 12b～5. 12c /2 級～1 級	女子	: 5. 11d～5. 12a /3 級～2 級
ユース A 男子	: 5. 12c～5. 13a /2 級～2 段	女子	: 5. 12b～5. 12c /3 級～1 級
ジュニア 男子	: 5. 13a～	女子	: 5. 12c～

【国体代表】

少年男子	: 5. 12c～/2 級～
少年女子	: 5. 11d～/3 級～
成年男子	: 5. 12d～/初段～
少年女子	: 5. 12c～/2 級～

2019 年度 宮城県山岳連盟 選手選考 SC 部メンバー

- 栗村洋一（宮城県山岳連盟スポーツライミング部 部長）
- 渡部 勲（宮城県山岳連盟スポーツライミング部 競技委員長）
- 二郷康範（宮城県山岳連盟スポーツライミング部 強化委員長）
- 前田圭一（宮城県山岳連盟スポーツライミング部 指導普及委員長）